

しあわせの里
令和 7 年度 第 4 回運営推進会議録

1. 開催日時 令和 7 年 10 月 17 日（金） 16:00～17:00
2. 開催場所 しあわせの里交流スペース
3. 参 加 者
- | | |
|--|--------------|
| | （地域住民代表） |
| | （地域住民代表） |
| | （高齢者福祉課） |
| | （あんしん支援センター） |
| | （利用者） |
| | （管理者） |
| | （事務員） |

【議題】

1. 運営推進会議を活用した外部評価の実施 について
2. その他

★ 利用者状況及び行事 について

【内容】

当日、委員の皆様と話し合った内容については、別紙の A3 サイズ資料に入力してお示ししております。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前にはケアマネや支援を行っている介護事業所から情報収集を行い、お一人おひとりの人物像の大枠を把握するよう努めている。 また入所後は、そのかたの望む生活のありかたはどういうものかを、日々の会話の中から、ご本人の意向や要望を汲み取り、支援に反映している。意思表示の難しい方には、生活歴を参考にし、家族からの聞き取りや本人の表情を読み取るなどして把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、各利用者の担当職員が作成しているモニタリングについては、計画作成担当者及び管理職も内容を吟味している。チームでお一人おひとりのサービスの質の向上に取り組んでいる。 介護職や看護職等の専門職の意見やアイデアのみならず、家族や馴染みの関係者等の思い出話などからも、より良い介護計画立案のヒントを得るよう心がけている。 令和7年9月末において要介護1～5の利用者9名が入所中であるが、各利用者の介護度や特性及び好み等を考慮した介護計画の立案を原則としている。その内容は一律的ではなく、個性性に富んだものになるよう強く意識して作成している。	(高齢者福祉課) 利用者に寄り添った介護を計画しておられ、本人らしさがだせる取り組みはいいと思います。取り組みを具体的に教えてください。 ホーム長 畑があるので率先して取り組んでくださる利用者にはケアプランをたて活動していただいている。 (地域住民代表) 介護計画が変化なければそのままでいかれますか。 ホーム長 そのままのケアプランの方も正直おられます。 (地域住民代表) 無理のない範囲でできるだけ利用者に寄り添ったケアプランをお願いします。	A 満場一致	今後も評価に基づき適切な取り組みをお願いします。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの気づきを記録に残し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。ケアのあり方については、ケア会議で評価して、プランの見直しに活かしている。記録の重要性についても管理職が指導し、全職員の記録の力の平準化を心掛けている。特変時には、より一層細やかな記録を残すよう心掛けている。それが、その後の計画立案や見直しにも繋がっている。		A 満場一致	記録が手書きなら効率化を図るといい。職員が高齢化していてデジタル化には消極的なことだが、なれることを前提に進めていくといい。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生れるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	① 十分にできている ② ほぼできている ③ あまりできていない ④ ほとんどできていない	突発的な受診はもちろん、家族が対応できない時など、必要に応じて通院送迎等の支援を行っている。その時々ニーズに対して柔軟な対応を心掛けている。 看取り期の食欲が低下した利用者の方に対しては、一律の食事メニューを提供するという概念を撤廃している(食費の徴収も中止)。ご家族からの協力を得ながら、ご本人が向くような食材を調達している。ある利用者の方については、入浴は夜間の好きなタイミングで行えるよう支援している。また洗濯機の使用は上手くできないが、洗濯機の中に洗ってないと思われる洗濯物があれば職員が介入するなどして、洗濯も自らのタイミングで行えるよう支援している。身体的な自立度の高い利用者の方に対し、ある程度自由に敷地内を散策されるよう対応している。所在不明や交通事故のリスクについては、ご家族への近況報告の際には、ある意味特別な対応をしていることを都度ご理解いただき、了承を得るようにしている。	〇〇〇〇(地域住民代表) 特別な対応とありますが具体的にどのようなことですか。 ホーム長 散歩や入浴など職員が必ず付くようにしていますがこの利用者はお一人です。職員の見ていないところでのリスク等は理解していただいている。 〇〇〇〇(地域住民代表) 今後も適切に対応していただきたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	① 十分にできている ② ほぼできている ③ あまりできていない ④ ほとんどできていない	この会議に出雲市職員の方やあんしん支援センターの方に加え、地域の福祉に携わる近隣住民の方にも参加していただくことで、地域の様々な情報を得ることができている。コロナが五類へと移行し、ボランティアをはじめ、地域も少しずつできるようになってきた。利用者の方の散髪については、法人内事業所の元利用者様ご家族であった理容師の方に依頼している。当事業所に出張していただくスタイルで実施しており、利用者の方には喜んでいただいている。春には愛宕山の桜、斐川チューリップへのドライブ企画を実施している。その方にとってより豊かな暮らしをするために必要な地域資源は何かを把握するよう努めている。	〇〇〇〇(地域住民代表) 地域資源の活用はなかなか難しいが私たちが協力できていればうれしい。ドライブなどは皆さんでいけますか。 ホーム長 何日かに分けて行ったりします。今年は暑くて行けてないです。 〇〇〇〇(高齢者福祉課) 地域の方との交流はありませんか。 ホーム長 例大祭などは毎年来ていただいている。 〇〇〇〇(高齢者福祉課) 小中学校などの子供たちとの交流もあっていいと思います。 ホーム長 法人は少しずつ再開していますが、まだ当施設は話がないのが現状です。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療	① 十分にできている ② ほぼできている ③ あまりできていない ④ ほとんどできていない	入所にあたり、かかりつけ医の選定はその方を支えるうえでの大きな確認事項と捉え、利用者およびご家族の希望を踏まえ決定している。看取り介護も提供する事業所として、かかりつけ医との連携は必須であり、日常より良好な関係づくりに努め、適切な医療が受けられるように支援している。			

		を受けられるように支援している					
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「入院後3ヶ月間は対象利用者のために部屋を確保することが可能」、との方針を医療機関に伝えたうえで、退院までの治療計画を立ててもらおう働きかけている。入院時には、情報提供を作成し、医療機関に提出している。入院中は病院の地域連携室の相談員とこまめに情報共有して、回復状況の把握に努め、スムーズに退院できるように環境を整えている。ご家族にはその都度内容報告を行うようにしている。退院にあたっては、入院先のDrからかかりつけ医に向け情報提供もしていただくようにしており、対象利用者への医療支援が切れ目なく提供できるよう努めている。 【補足】 退院前カンファレンスには、極力複数の職員での参加することを心がけ、再び始まる当事業所での生活が安心安全なものになるよう努めている。		A 満場一致	3か月間の部屋の確保は施設としては大変だが今後も寄り添った取り組みをお願いします。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合の指針、看取り介護の指針を定めており、契約時に説明し、その時点での看取りの希望を確認するようにしている。看護師が1人の事業所であることの理解を得たうえで、当事業所として旅立たれるまでの期間にどのような支援ができるか伝えている。また、全職員が当事業所としての支援のあり方を認識共有している。こまかな状態の変化を注視し、節目には都度話し合いの場を設けている。その時の状態に応じて、ご家族の意向を確認したうえで医療機関との連携も図りながら、何が本人にとってより良いことかを考え、出来る範囲での対応を心がけている。終末期には、家族が付き添いやすい環境整備に重点を置き、家族控え室も提供している。また、本人にゆかりのある方が訪ねやすい雰囲気づくりにも努めている。		A 満場一致	一人一人その人らしきを取り入れた最後を支援しておられる。今後も続けてお願いします。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当事業所職員は、消防署署員や当法人の応急手当普及員が主導して開催する救命救急講習会を定期的に受講している。その機会を活用し、AEDの使用体験も行うことで、事業所に設置している本機の有効性が増すよう取り組んでいる。 ※昨年度、法人内にて救命救急講習会開催の実績あり(職員9名中4人参加)。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当事業所が土砂災害警戒区域(イエローゾーン)に指定されていることを全職員が認識したうえで、有事の際の対応を検討するよう取り組んでいる(BCP策定し周知)。毎年の地域合同避難訓練(火災想定)で近隣住民(消防署、消防分団含め)との協力体制を築いている。訓練後には反省会で意見を出し合い改善を図るようにしている。有事の際に、しあわせの里・あかねの里・ほのぼのデイサービスの3事業所の施設や人員をフル活用できるよう災害想定訓練も3事業所合同で実施している。また、役職者のグループラインを作りネットワークを活用できる仕組みを整えている。なお、各事業所単位でも緊急連絡網を整備している。法人単位で年間計画に沿った備蓄品(粥、飲料水、シチュウ)を購入している。グループホームリビングと事務所には、それぞれ音声告知端末、出雲市防災無線を置き、情報収集できる環境も整えている。 【補足】 地域合同避難訓練は昨年より訓練を再開した。今年度も予定している。こうした訓練を継続して行うことで避難方法を全職員が身につけることができる。	(地域住民代表) 地域の方と一緒に避難訓練をされていますか。 ホーム長 去年から再開しました。 (地域住民代表) この地域は土砂崩れの心配です。進んで取り組んでいただきたい。	A 満場一致	今後も評価に基づき適切な取り組みをお願いします。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	親しみの中にも目上の方に対する適切な言葉かけと対応を心がけている。出来ない部分ではなく、できる部分に着目することに努めている。そうすることで得られる満足感が尊厳の保持につながるものと理解している。それぞれの人格を尊重し、排泄や入浴などは特に羞恥心に配慮し、同性介助も行っている。認知症の利用者の方は、短期記憶の欠如の傾向があることを理解し対応している。日々繰り返される同じ質問についても、同調し傾聴するよう心がけている。		A 満場一致	目上の方だけでなく利用者の方には適切な言葉使いをしてください。いい関係性はできていると思います。今後も適切な取り組みをお願いします。
----	--------------------	---	--	--	--	-----------	--

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方や家族の意思を尊重し、無理強いせず一人ひとりに合わせた生活をしていただいている。言語的なコミュニケーションが困難な方については、生活歴や嗜好の情報収集はもちろんのこと、支援を行った際の表情や反応を観察することで、より希望に添ったケアの実現に努めている。またその日の睡眠状況や体調に合わせ、ご本人の思いを尊重した対応をしている。入浴や食事時間、外出などは、可能な限り希望に添えるよう努めている。			
----	--------------	---	---	---	--	--	--